



# 地球市民

オホーツク国際理解教育研究会

2018/06/27 No.1

いつでも・どこでも・だれでもできる国際理解教育を目指して



## 国際理解教育の一層の充実を目指して

オホーツク国際理解教育研究会長

遠軽町立瀬戸瀬小学校 菅原敏明

平成30年度オホーツク国際理解教育研究会の会長となりました菅原敏明です。

昨年度は、石田前会長を中心に全道研究大会を開催することができました。北見市立西小学校、南中学校を会場に各地から多数の方のご参加があり、研究に対したくさんの貴重なご意見をいただきました。関係各位には改めて感謝申し上げます。大会では、研究部による授業研究を繰り返し実践する中でオホーツク独自の提案をすることができたものと考えています。今年度は、その成果と新たに見いだされた課題をもとに、オホーツクとしての国際理解教育についてさらに研究を深めていきたいと考えます。

これまでオホーツク国際理解教育研究会では、「身近な物事から世界を見つめる」ことを大切にしてきました。現代では自分と世界との間に感じられる距離は一層小さくなってきています。私たちの身のまわりにある物・事・人は何らかの形で世界と関わっていることが多い状況となっています。子供たちは、身のまわりと世界の国々との関わりに気づき思いを広げることから始まり、さらに異なる文化の良さを知り、そこに住む人々の知恵や精神性をかけがえのないものとして大切に受け止める。その過程を通して自分自身の尊さや自国文化の素晴らしさを改めて認識することにもなると考えます。このような寛容、他者尊重の意識、自尊意識、共生の心は、「持続可能な社会」を目指すうえで基本となる事柄だと考えます。

2年後完全実施となる新学習指導要領では「主体的対話的で深い学び」が重要な柱として掲げられましたが、国際理解教育が求めてきたのは、まさに自分から進んで課題意識をもち話し合いをしながら課題を解決し、さらには行動に向かおうとする児童です。国際理解教育が進めていることは、今日的な教育課題と深いつながりを持っていることに自負を持ちながら一層の研鑽を積んでいければと思います。会員はもちろん会員以外の皆様と一緒に、子供たちの未来のために力を合わせていければと思います。今年度一年間どうぞよろしくお願いいたします。

### 今年度の活動について

第1回役員会が4月14日に美幌町立美幌小学校において開催され、今年度の活動内容が確認されました。

\*本誌2枚目に詳細掲載

### アドレス登録のおねがい

会の運営は、皆様からの会費によってなっています。通信費の節約のため、通信等の配布は、なるべくメールでの添付を考えています。そこで、賛同いただける方は組織部網走市立西小学校畠山教頭先生まで連絡をよろしく願いいたします。

☒☒☒☒☒☒☒

# 平成30年度事業計画

## 役員一覧

今年度の役員は、次のようになりました。  
よろしくお願ひいたします。

役職	名前	学校名
顧問	石田 篤司	北見市立三輪小学校
顧問	西村 榮基	美幌町立美幌中学校
会長	菅原 敏明	遠軽町立瀬戸瀬小学校
副会長	河原 賢	美幌町立美幌小学校
副会長	櫻田 弘道	北見市立常呂小学校
副会長	伊井 俊明	網走市立呼人小中学校
監事	葉萱 清敏	大空町立東藻琴中学校
監事	齊藤 修	小清水町立小清水中学校
研究部長	伊藤 聡	美幌町立東陽小学校
情報部長	小野寺 哲浩	北見市立錦水小学校
組織部長	畠山 稔	網走市立西小学校
事務局長	長崎 祐紀	滝上町立濁川小学校
事務局次長 (補佐)	天野 昌明	北見市立上仁頃小学校
事務局次長 (補佐)	宮崎 浩	北見市立西小学校
事務局次長 (研究)	吉本 隆	北見市立美山小学校
事務局次長 (事情研)	相馬 一之	紋別市立渚滑小学校
事務局次長 (会計)	佐藤 文昭	紋別市立上渚滑小学校

## 事務局

4月14日 第1回役員会  
2月17日 総会・派遣教員激励会  
9月1日 世界を語る会・夏季研修会  
会場 北見市立三輪小学校  
発表者 北見市立常呂小学校 櫻田 弘道 校長  
網走市立白鳥台小学校 森 奈穂 教諭

## 研究部

・第31回管内教育研究大会に向けた授業研究の推進  
・研究紀要、研修録の作成  
・F-LAPとの連携、小学校外国語活動研修会の実施  
オホーツク国際理解教育研究会北見大会  
期日 12月14日(金)  
会場・授業者  
北見市立三輪小学校 忍関 愛 教諭  
北見市立小泉小学校 林 優希 教諭

## 情報部

・地球市民1～3号の発行  
・HP更新

## 組織部

・会員名簿の作成に向けて会計担当との連携  
・メールアドレス登録の推進

## <ご連絡> 会費の納入について

次のいずれかで納入をお願いします。

- ①最寄りの上記役員に手渡す：後日領収書をお届けします
- ②振り込む：振込手数料については、各自がご負担ください。

振込先 オホーツク国際理解教育研究会

ゆうちょ口座 19740-15888591

ゆうちょ以外から  
店名 九七八 店番 978 普 1588859

- ③直接会計担当 佐藤 文昭校長先生（紋別市立上渚滑小学校）まで届ける。 ☎0158-25-2516



# 蘇州(中国)からニート!



蘇州日本人学校 田川満男(雄武町立共栄小学校)

早いもので中国に来てから2年が経ちました。派遣最後の年は、教務主幹として学校のいろいろな仕事に忙しい毎日をご過ごしています。この2年間で現地の公立小学校を何度か訪問させていただきましたが、ここ数年で中国の学校教育の質は大きく向上し、学校の設備や教師の指導力も日本の学校教育をしのぐほどになってきていると感じました。

## 蘇州高新区实验小学を訪問

蘇州高新区实验小学は、開校5年目の新しい学校で近代的なつくりの学校です。

- ①1階のロビーは、日本の学校と比べたらとても広く、先生方や子どもたちの写真、学習に関係する内容などが所々に工夫されて掲示されていた。
- ②学校には公会堂のような立派な劇場があり数百名が収容できるものであった。照明などの設備も充実しており映画から舞台演技まで可能な施設であった。
- ③昼食をとる食堂はとても広く、六人掛けのテーブルで数百人が一度に昼食をとることができるようになっていた。メニューは日ごとに違い、日本の給食と同じようである。
- ④廊下には掲示板が多くあり、学校の教育目標や児童が守るべきモットーなどが掲示され児童たちが常に意識ができるようになっている。
- ⑤いろいろな場所に、環境問題など「総合的な学習の時間」で学ぶような内容の掲示があり児童が常に学ぶ意識を持てるような環境がつけられている。
- ⑥先生方の板書の字を確認する黒板があり、週に1度そこに指定された文字を書くようになっていた。中国の学校は、とても先生方の育成に力をいれている。

①広いロビー



④教育目標などを掲示



②大きな劇場



⑤環境についての掲示



③大きな食堂



⑥先生方の字の練習用黒板



### 小学校3年生の英語の授業を参観

授業は教室ではなく視聴覚室で行われました。英語の授業はいつもこの教室のようです。授業は電子黒板と授業者の指示で進められ、授業者は中国語を全く使わずに全部英語で話をしていた。児童も指示をしっかりと理解し発表や発言も全て英語で対応し授業に参加していた。日本の小学生よりもしっかりといてレベルも高いと感じた。先生も英語専門の先生ではないようである。若い先生だったが、授業の進め方もとても上手でした。

